

# 福祉保健部の経営方針

部長 金森 隆

## 展 望

子どもからお年寄りまで、地域で暮らすすべての人々が共に支えあいながら自立した生活を営み、積極的に社会参加し、安定した生活を送っている。

## 使 命

個人が人としての尊厳をもち、家族や地域の中で、すべての人がともに助け合い、住みなれた地域で暮らし続けることができるようなまちづくりを進める。

障がい者の自立した生活支援、高齢者に対する介護予防活動事業の充実につとめ、安心して生活できる社会基盤の整備に努める。

国民健康保険料の適正賦課と収納率の向上に努めると共に、医療制度の見直しに適正な対応を図る。

## 経営資源（平成23年4月1日現在）

### 構成

福祉総務課 生活福祉課 障がい福祉課 長寿課 国保年金課 医療助成室

### 職員数

正規：142人（職員比率 4.21%） 再任用：2人 嘱託：85人 臨時：11人

### 平成23年度予算額

一般会計 22,017,087,000円

特別会計 50,564,496,000円

## 平成23年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準
「福祉の村」基本計画の策定に向け（仮称）こども発達センターのあり方の骨格の検討	指定管理者（岡崎市福祉事業団）との協議 民間活力導入の可能性の検討 関係部署との協議 運営手法の決定	・「福祉の村」基本計画の策定に向けた運営手法の方向性の明示
高齢者生きがいセンター施設構想の再検討	社会福祉審議会高齢者福祉分科会の開催による検討 老人福祉計画策定の中での検討	・施設建設の是非を含め、跡地利用など計画の見直し案の策定
子ども医療費助成制度の医療費自己負担額を全額助成から見直すための検討	検討会の開催 関係機関の調整	・改正の是非、改正案、スケジュール案等の作成

<p>社会福祉協議会、福祉事業団、シルバー人材センターの将来像検討</p>	<p>将来像検討を担当する他課と連携し、検討プロジェクトチームの立上げ 課題抽出 将来像の骨子策定</p>	<p>・将来像の骨子策定</p>
<p>第2次地域福祉計画策定</p>	<p>市民ワークショップの開催 福祉事業者等へのヒアリング 地域福祉計画推進委員会の開催 市・社協合同作業部会の開催 地域福祉計画庁内検討会議の開催 社会福祉審議会福祉施策検討専門分科会答申</p>	<p>・第2次地域福祉計画策定完了</p>
<p>生活保護申請処理事務の適正化</p>	<p>預貯金、生命保険、資産、病状、扶養義務者、暴力団関係等の調査・決定方法を検討 保護開始の適否方法等の検討</p>	<p>・法定期間の14日以内での処理決定率 85%以上（平成22年度 82%）</p>
<p>国民健康保険料に関する ・税額調整控除の新設 ・新賦課総額の検討 ・所得割算定方式変更に伴う施策の検討</p>	<p>現システムの修正内容の検討 他市の状況把握 激変緩和措置及び減免の検討 管理班・資格給付班との連携</p>	<p>・現システムの改修完了 ・影響者の洗い出し ・シミュレーション作成</p>
<p>保険料の収納率向上</p>	<p>納付機会の拡充 納付指導機会の拡充 滞納処分の徹底 普通徴収から口座振替への切替推進</p>	<p>現年分賦課調定額の ・98%以上の収納率の確保 〔介護保険料〕 ・同90%以上の確保 〔国民健康保険料〕 ・同99%以上の確保 〔後期高齢者医療保険料〕</p>